

高校における政治教育と 18才選挙権

芝浦工業大学柏中学高等学校
杉浦 正和

1. 青年の低投票率は、民主主義崩壊の危機ではないか

- 教育基本法 第8条(政治教育) **良識ある公民たるに必要な政治的教養**を尊重しなければならない。
 - しかし、学校教育でも社会科授業でも注目なし 逆に、政治への忌避
 - 近年、青年投票率の急激な低下
- ⇒ **緊急の具体策提示**が学校の責務

20歳代投票率の異常な低下

- 東京 2000年衆院と2001年参院選挙 (%)

年代別	12衆院選	13参院選
20歳代	37.9	31.2
40歳代	65.2	56.4
50歳代	71.8	64.5
全年齢平均	60.5	53.3
20歳平均比	63%	59%

- 小泉人気で青年の政治関心が高かった
⇒無関心だけが原因でない⇒深刻な危機

中学高校ですでに投票意欲なし

◇武蔵大高校生意識調査(2000年)◇

• 20才で選挙に「行くと思う」.....33%

「どちらかと言えば行く」.....23%

否定的回答.....11%+16%

• 「どちらかと言えば行く」者が
実際には選挙に行かない

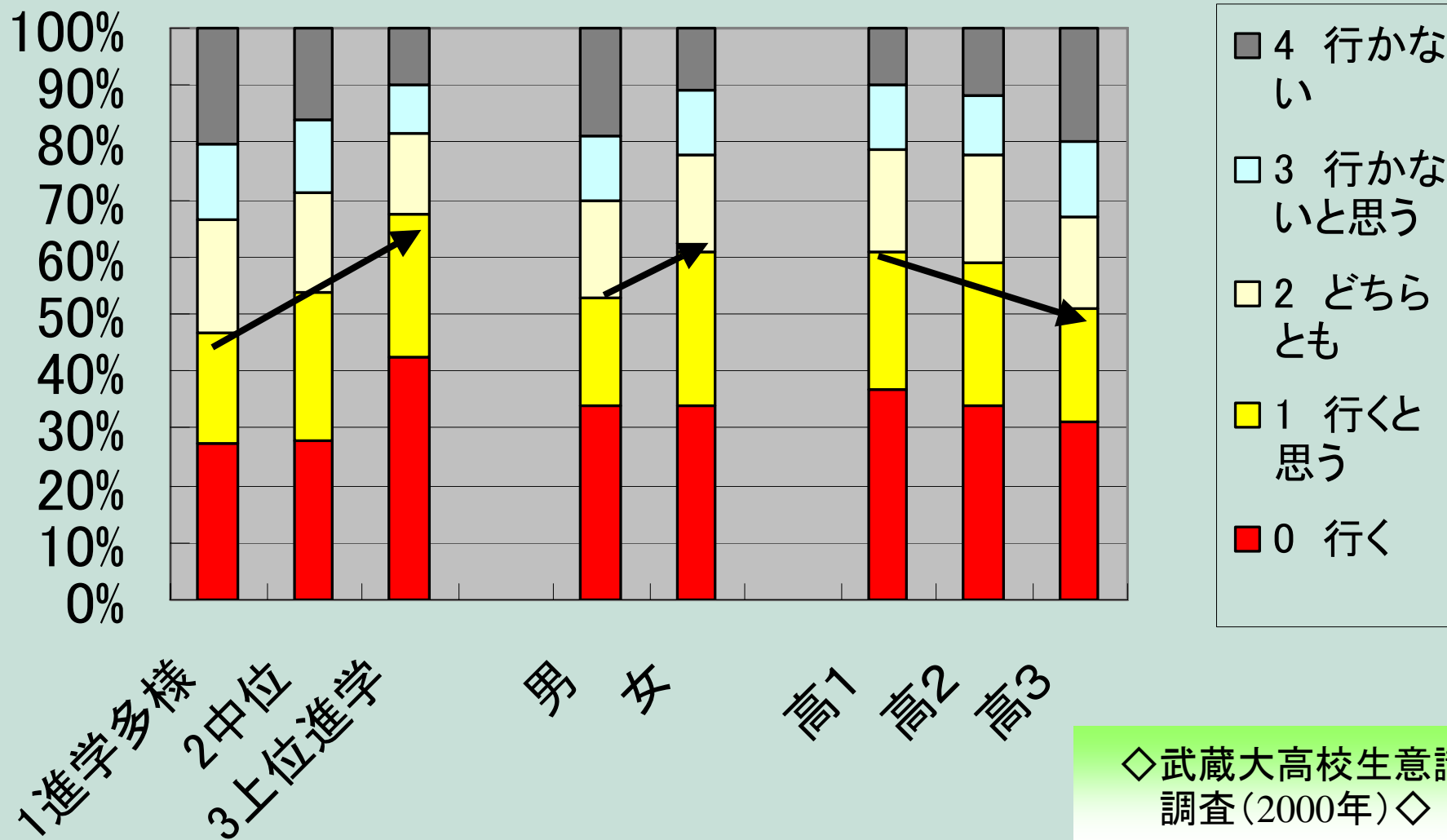
⇒学校教育段階で投票意欲を
育てていない、大欠陥

年代別	12衆院選	13参院選
20歳	43.8	33.9
21歳~24歳	35.4	29.3
25歳~29歳	38.7	32.1

2. 高校生の低い 選挙参加意識の原因

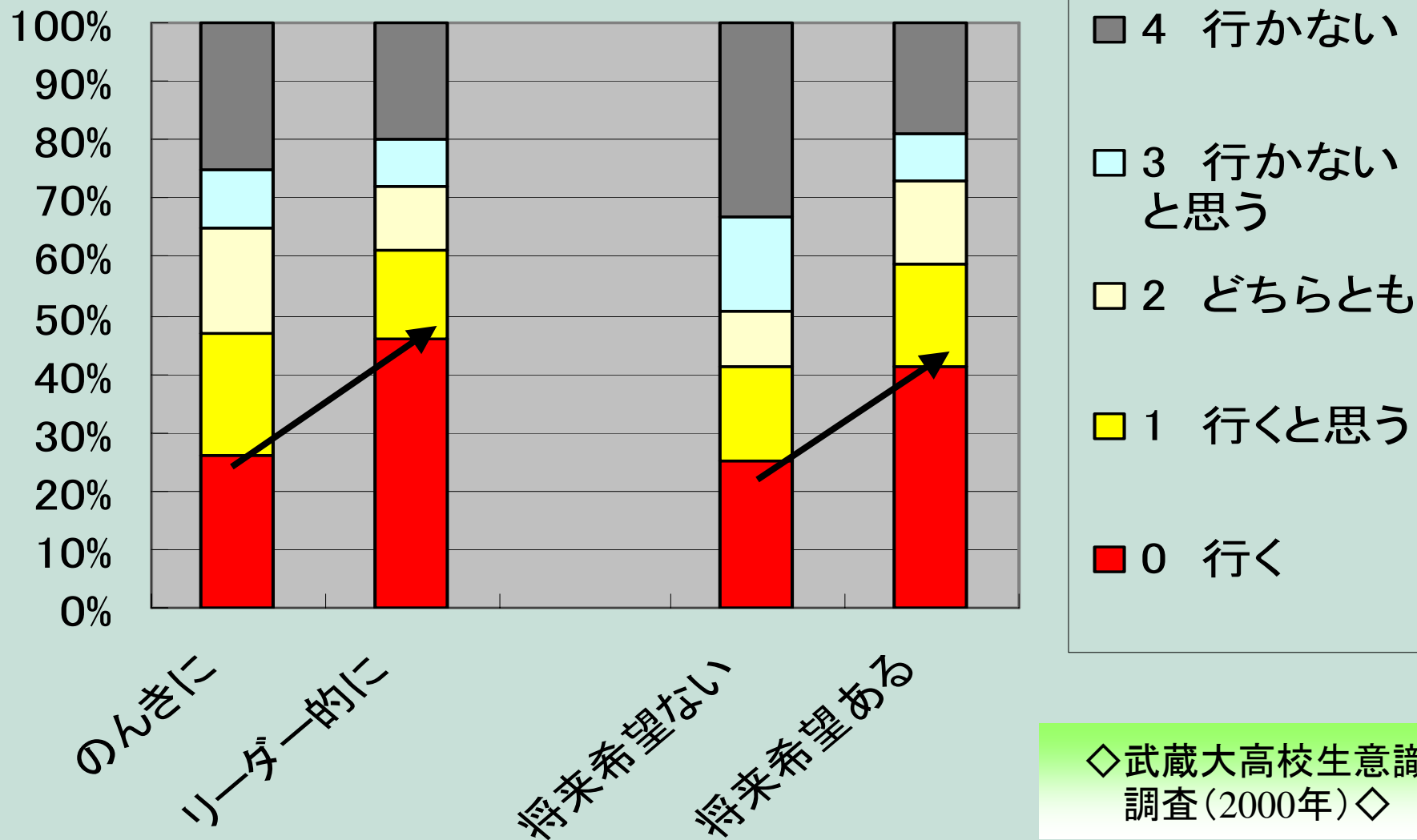
- 高校生のニュースへの関心は低い
 - 参議院選挙前6月、読売新聞世論調査
日本政治が「良い方向に進む」と
20歳代が98年の39%から81%へ急増
 - 政治への関心や期待感の上昇の中で、
青年の低投票率が更に進行
- ⇒ 政治関心の低さは、低投票率の主要原因
ではない

選挙権をえたら選挙に行くか



◇武蔵大高校生意識調査(2000年)◇

選挙権をえたら選挙に行くか



◇武蔵大高校生意識調査(2000年)◇

生徒の選挙意欲は？

- 高1 > 高3
- 女子 > 男子
- 進学上位校 > 進路多様校
- リーダー的生徒 > 追隨的生徒
- 将来に希望ある者 > ない者

→ 学校生活での秩序意識や自治能力が
投票行動に関係があるのでは？

⇒ 「投票が当たり前」という意識を育てる

3. 新聞を毎日読むこと

- 煽情的傾向の強いTVより
- **NIE**（「教育に新聞を」運動）を
⇒ **学校で社会的話題**に生徒が注目
 - 教師のサポート
 - 生徒がより深く社会問題を考察
 - **社会問題への関心が当たり前の感覚**を育成
 - 情報収集と分析力の強化は、第2の意義

IT革命下のメディア・リテラシー

- 広い分野の情報から
新聞見出しで情報を探して選択
文章を読んで内容入手
→新聞を読む技能は
インターネット・リテラシーと類似
メディア・リテラシーとしても意義
⇒TVより新聞の重視を

4. 模擬投票は学校の責務 ～政治教育は学校全体の課題～

- 「良識ある公民たるに必要な政治的教養」
＝実践的には最も重要であったのは、
投票行動を定着させる教育では？
- 選挙行動は権利であるとともに、
国民の義務であるという視点を
⇒＜投票に行くのは当然である＞という**秩序意識とその能力**を育てて訓練する責務

学習指導要領と投票意識

- 「選挙の意義」だけ教えてきた社会科
＝投票行動を育てる教育をしてこなかった
- 選挙において、最善の候補がいなくても**次善の判断で投票**していく訓練と意識付け
- **現存の政党への親近感**、少なくとも具体的なイメージを持たせること
- **学校行事で模擬投票**を実施し、投票への積極的意識と能力を育てる責務

投票率を上げる効果的方法

政党への低信頼感

- 田中愛治早大教授（政治過程論）
.....若い世代の政党に対する愛着や政党政治に対する関心が低い。
.....政治意識は、年をとれば政党に信頼感を高めるようなライフサイクル変化がなく、
青春期に冷めた感情を現実の政治や政党に対して持つと、年をとってもそれが変化しないのである。（『読売』2001.11.28夕刊）

KIDS VOTING USA 教材

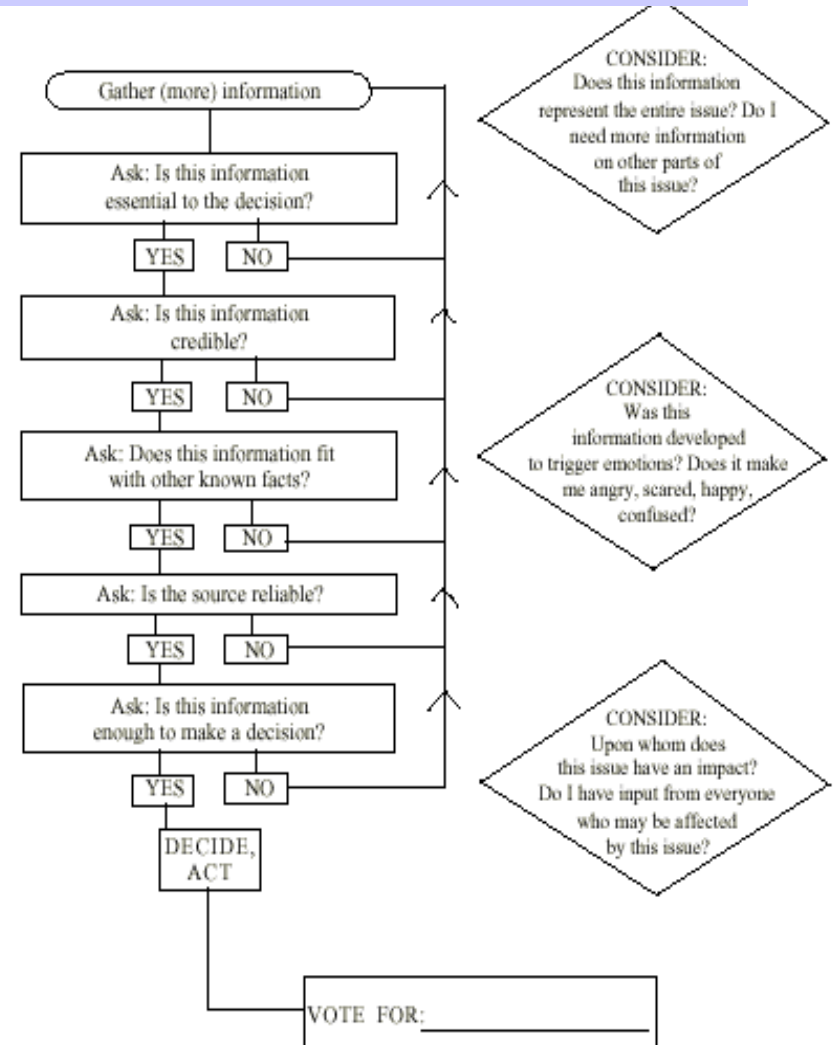
• 意思決定の図 Grade 6-8

Processing Information

- 重要な情報か
- 信用できる情報か
- 情報は十分にあるか
- 全体がわかるか

辛くない

- “Voting is the least arduous of a citizen’s duties. He has the prior and harder **duty of making up his mind.**”
-Ralph Barton Perry



Concept 4

I register & vote



まず選挙登録

Activity

Voting Simulation

(30 minutes)

Objective

Students will vote in a simulated polling place to become familiar with the voting process.

Get Ready

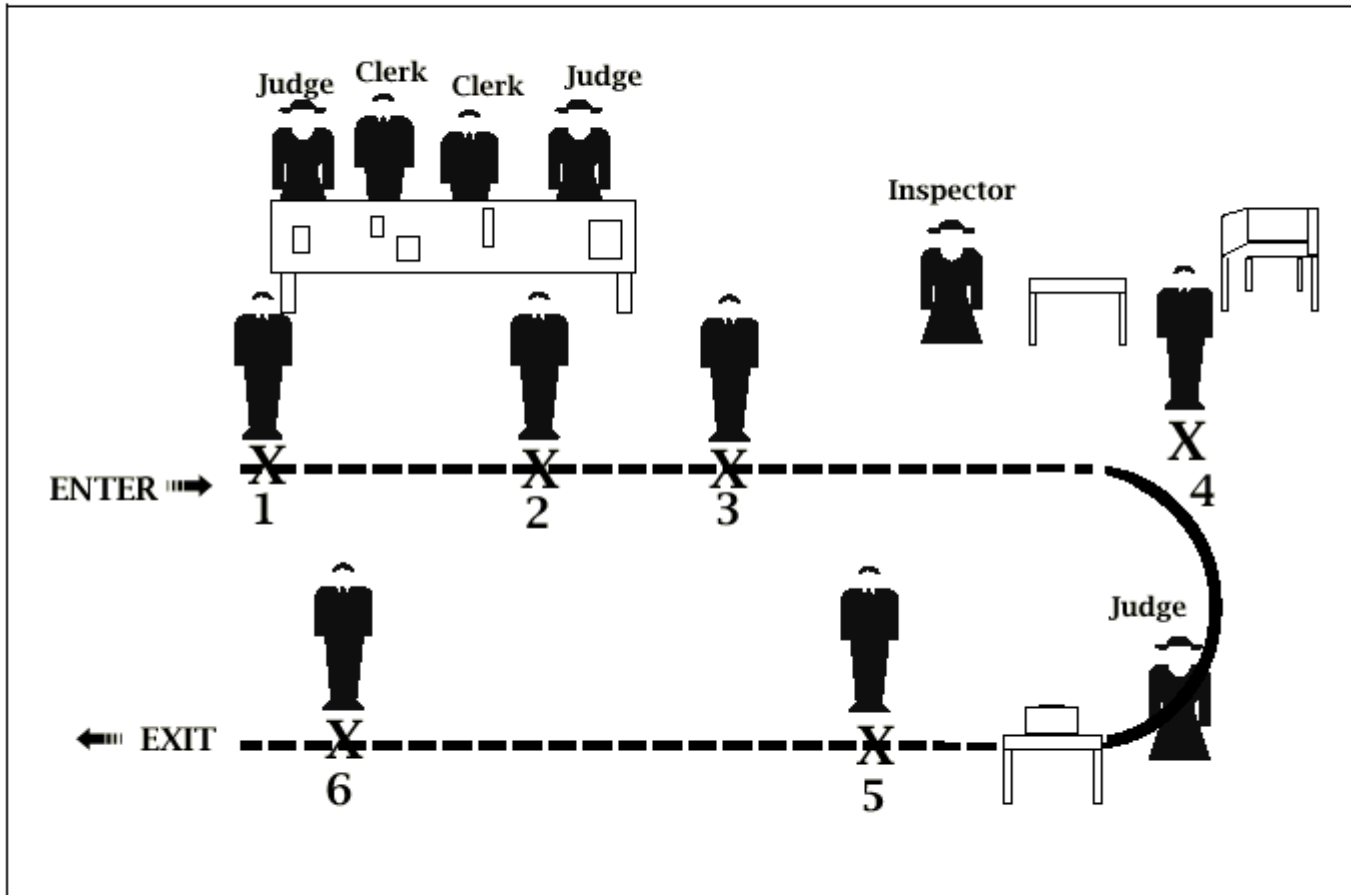
- ✓ Choose an issue that will impact the students rather quickly. For instance, vote on what to play at recess or how to determine seating or something fun and silly such as: What tastes best - a chocolate chip or peanut butter cookie?
- ✓ Prepare ballots or determine a way to vote on blank pieces of paper.
- ✓ Prepare a simple ballot box and voting booth.

- ✓ Hand the ballots to the other judge.
- ✓ Seat the marshal by the ballot box.
- ✓ Ask a student to demonstrate by casting the first vote.
- ✓ Let each student go through the process of voting.
- ✓ Instruct the marshal to tally and announce the vote.
- ✓ Implement the vote.

Questions

- ☆ Who can go into a polling place?
- ☆ Have you ever gone with your parents?
- ☆ Where was it?
- ☆ How do adults know where to go to vote? If they don't know, how can they find out?
- ☆ Can everybody vote?
- ☆ Have you voted at the Kids Voting booth

厳格・公正な投票所の説明



At the polls there are usually one inspector, two judges - one Republican, one Democrat, two clerks - one Republican, one Democrat, and one marshal.

As you enter you will generally meet:

Poll workers have other duties. For instance the marshal makes sure that the law is kept. She watches that no one campaigns within 150 feet of the polls and she checks to see

Freedom's Answer Lesson Plans

Prepared by Newspapers in Education

- Lesson One: Voting: Right and Privilege
- Lesson Two: What is the Function of Voting in a Democracy? **Why Vote?**
- Lesson Three: **Issues and Elections**
- Lesson Four: Voter Registration
- Lesson Five: Getting Out the Vote

KIDS VOTING USA の研究 模擬投票の効果

- 社会－経済的なギャップを縮める
- ジェンダーのギャップを縮める
- 親の学習を刺激する
- 棄権者を変える役割
- 親の投票率を高める
- 新聞を読む機会が増える.....2倍
- 親は二度目の政治的社会化の機会

5. 18才選挙権導入による 学校の政治教育の変革

- 教育基本法第8条第2項に示された**政治的中立性の拡大解釈**の現状
(政治的教養の軽視、**現実政治関与の忌避**)
- 1970年代までの過激政治活動への恐怖
- 1980年代以降の**青年の非政治化**
→投票率低下の加速
- 先進国で最も政治関心の低い青年

18才選挙権を導入した先進各国

- 1960年代学生運動
⇒ 大半の先進国が18才選挙を導入
(日本とは逆の方向)
- 選管の青年への働きかけ活発化のみ
- 先進国の標準にならば、高3生の訓練から、
政治教育への真剣な取り組みを
– 議会制民主主義の崩壊を防ぐ

18才選挙権の現状

- 大半の政党が賛成、例外は自民党
 - 政治日程にのぼらない
- 意義を唱える教育界の動きなし
- 成人年齢の引き下げと連動
 - 高校が社会人を育成できているか
- 政治教育の遅れ、証拠あり
 - 日本の民主主義に深刻な影

中学高校生の意識状況への配慮

- 後藤雅彦「模擬投票を取り入れた公民的分野の授業効果」『公民教育研究』8号、2000年より

P116.....政治家を信頼していない割合が8割
- (有権者全体で67%、中3生徒で83%)

早くやめて、勝手にしたらと思う者、36%

「純粹」
正義感

- 社会や政治の実態を知らず

マスコミの攻撃的論調だけがすりこまれる

⇒ 政治的不信感だけが募り、展望を持たず、
政治参加の意欲も弱い生徒が増える

◇ 模擬投票に向けて ◇

- 厳正な雰囲気、模擬投票**グッズ必須**
 - **日常的**な選挙で繰り返すこと
- 議会の議員・政党調べ、情報収集
 - 実態を知って**親近感**を得ること
- **選挙広報**のみの掲示、分析
- 候補者-政党の**選び方**
 - **人柄・実績・政策調べと評価**

ディベート
学習を

資料

- ①教育基本法 第8条(政治教育) 良識ある公民たるに必要な政治的教養は、教育上これを尊重しなければならない。
2法律に定める学校は、特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他政治的活動をしてはならない。
- ②公民教育は憲法教育に偏っていなかったか
金田耕一「リベラル・シティズンシップ教育の展望」『社会科教育研究』
2000年別冊
- ③模擬投票に加え、〈国民と代表とのつながり〉をどのようにとらえていくかを授業で考察していくことの提案
吉田俊弘「国民主権・代表制に関する授業実践の検討と課題」『公民教育研究』9号、2001年